

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800358		
法人名	株式会社 クオス		
事業所名	グループホームほのかの里 桜丘		
所在地	夕張郡栗山町桜丘1丁目80-74		
自己評価作成日	令和7年3月3日	評価結果市町村受理日	令和7年4月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosvoCd=0175800259-00&ServiceCd=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の皆様が、ご自宅同様に日々リラックスして過ごせる様に、またご家族が心配することがない様にスタッフ一同取り組んでおります。入居者の皆様は毎日の食事を大変楽しみにされております。毎食手作りで美味しい食事を提供出来るように頑張っております。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和7年3月24日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然豊かで四季の移ろいを感じられる栗山公園の麓に位置する開設17年目、1ユニットの事業所である。建物はデイサービス併設型の平屋建てで、広い前庭には外気浴やお茶を楽しめる東屋がある。町内会や地域住民との関係も良好で、運営推進会議への協力や散歩の際に住民からの声かけも得ている。行事的外出は感染症流行期以前と比べ、若干少なくなっているが季節感あるドライブ外出を継続している。在宅の生活の延長線に利用者の暮らしがあると、本人の生活習慣や望む生活を大切にしたい支援に努めている。野球や相撲の好きな方へは、一緒に朝刊を見ながら「今日はあるね」と、視聴を楽しみにできるようにしている。都度、利用者と会話でも関わり合い、話し好きな利用者の気持ちを引き立てたり、歌が上手な利用者では、職員の問かけや話しに歌で応える方もいるなど、会話の介護にも力を入れている。全介助で要介護度の高い利用者へは、本人の好きな猫の本を開き、一緒に見るなどし、ほのぼのとした優しい雰囲気が窺える。食事は3食手作りで品数も多く、彩り良くセッティングしている。棒体操やボール投げ、ペットボトルキャップパズルなど、好みに応じて支援している。馴染みの目覚まし時計や洋服を手元に置く事で落ち着きを取り戻した利用者があるなど、混乱を取り除くケアにも優れている。管理者と職員が個々に力を発揮し合い、そして一つの良好なチームワークを築き、心を込めて利用者本意や本位となる支援に取り組んでいる事業所である。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価（事業所全体）	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員それぞれが理念を理解し、日々の業務に取り組んでおります。	「ゆったりと楽しく」「自由に、ありのままに」「暮らしの喜びと自信を」「いつも笑顔で、地域とともに」の4項目からなる理念を標榜している。パンフレットに明示し、事業所内要所へ掲示している。管理者は常日頃より理念に則った支援の大切さを職員に伝えて共有に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方とは、お会いした際には世間話をしたり、運営推進会議に参加して頂いたり良好な関係を築いております。	町内会に加入し、近隣住民とは良好な関係を築いている。住民から野菜の差し入れや、散歩時には住民宅庭に招かれ用意された椅子に座り植栽を眺め一休みしている。併設デイサービスに秋祭りの神輿担ぎが訪れた際は、地域の方々と一緒に集っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	そのような機会はありませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍以降、運営推進会議が出来てませんでしたが、徐々に行ってます。	同法人他事業所との合同で開催し、通例の報告では、利用者の現状を詳細に報告している。毎回、勉強会を行い、今年度は、高齢者の爪・フットケア、熱中症について等、詳しい資料の配布も行い、共有の元に感想を得ている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席を頂き、現状報告等を報告、連携を図っております。	法人本部が主となり町の各担当部署と協働し、適正な運営の維持に向けている。事故報告は昨年7月の届出以降は発生していないが管理者が対応している。空知総合振興局担当者の来訪の際の情報共有や書面にて生活の現状報告を提出し連携している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束が必要な入居者はありません。玄関の施錠は夜間のみです。	身体拘束廃止に関する指針を定め、法人本部役職者、法人他事業所管理者が参集し身体拘束廃止・虐待防止委員会を開催している。これらに係る年2回の内部研修は、委員会内と職員への伝達研修形式で実施している。身体拘束禁止の対象となる具体的な行為・身体拘束ゼロに向けての行動指針を掲示し、職員へ周知している。身体拘束は行われていない。玄関は夜間のみ施錠している。	内部研修の書類整理に期待したい。

グループホームほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は過去に虐待防止の研修に参加しております。当施設にて虐待は無く、建物も小規模で各スタッフの行動も把握出来ております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について学ぶ機会はありませんでした。現在入居中の方々にそれらの制度が必要な方はおりません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時やその都度ご本人、ご家族へ説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や要望が有った際には、本社へ報告し都度対応しております。	家族へは毎月、個別の便りと写真を送付し、日々の支援への感謝の言葉も多く、利用者からはチラシを見ていた際に「美味しそうだね」の言葉があった時には買いに出ておやつに提供したり、「帰りたい」には真実を伝えつつも、家族と連携するなどして、本人の安心できる対応を行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフとは都度意見交換はしており、本社とも連携して反映させてます。	法人役職者が必要時に職員と個別に面談する機会があり、管理者も日頃から意見等を聞き取っている。職員から利用者の個別支援の見直しやエアマット導入など意見が出され反映している。意見や提案はボードも活用し、随時、調整がなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ここ最近外部研修などには参加する機会は、ありませんでしたが、施設内では職員同士で入居者へのケアについて話し合いより職員全員が良い介護が出来る様に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	そのような機会は有りませんでした。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の生活歴や家族との関係等を考慮し安心して生活がスタート出来るように努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時にご家族から心配な事や要望等をお伺いして、実践し都度ご家族に連絡しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	都度必要な対応を行なっております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれの方の性格等から役割を持って頂き生活に参加している意識を作るように努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族は定期的に来訪され、ご本人の様子を見て、スタッフからも普段の様子を報告し共に支えていく意識を築いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会したいと要望があった際には、十分な距離を取って面談して頂いております。こちらからお断りする事はございません。	面会は玄関内で行い、家族以外に友人の訪問のある利用者もあり、記念に写真を撮っている。電話の取り次ぎや、家族と一緒に墓参、法事の際には寺院への送迎支援を行った。一時帰宅や外食、年末年始に家族とゆっくり過ごす利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	合う方、合わない方を見極め、席を決めたり気を付けております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院等でお会いした際には、近況等をお聞きして必要に応じてアドバイスをさせて頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段のコミュニケーションを通じて意向を把握し、検討し実行しております。	利用開始時に本人や家族から生活の意向等を聞き取っている。職員は利用者との関わりの中で、本人の行動や些細な言葉に気を留め、何が望みなのかを把握している。利用者其々の、気掛かりで落ち着かない事の理由に気づき、対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人ご家族からお伺いし、普段の会話からも把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人に合った過ごし方が出来る様に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーとスタッフが話し合い作成し、ご家族の同意を頂いております。	課題分析(アセスメント)概要は計画の策定ごとに整理している。モニタリング表には評価と共に、今後に向けた支援についての配慮事項も記載し、支援の統一を図り、本人のより良い暮らしの介護計画を策定している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフ間では日々の申し送り、業務日誌、介護記録にて情報を共有し計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状態に合わせて都度柔軟に必要な対応を行なっております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	季節によって栗山公園や夕張方面、長沼方面へ出掛けて気分転換を図っております。(紅葉観賞、リンゴ狩り、秋祭り等)		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	栗山赤十字病院の各科へ定期受診し、さいとう眼科への定期受診、訪問歯科の依頼を行なっております。	現在は、全員が協力医療機関を主治医とし、他科受診を含め事業所が通院支援を行っている。歯科は必要時の訪問診療の体制である。看護師による週に1度の健康管理の体制にはあるが現在、停止中であり、受診時にかかりつけ医と相談し健康管理に努め、受診記録を整えている。	

グループホームほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回看護師が出勤。都度ケア等について相談しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	栗山赤十字病院をかかりつけ病院とし、入退院の際は連携しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご本人、ご家族へは説明を行ない都度栗山赤十字病院のご協力を頂いております。	利用契約時に、ほのかの里桜丘重度化対応・終末期ケア対応指針を説明し同意を得ている。食事が摂取できなくなるなどの状態変化時には、医師・家族と共に話し合い、今後の方針を取り決め対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフは日頃より事故の際の対応について想定し、実際の事故の際には看護師の協力も得て迅速に対応しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署のご指導のもと避難訓練を行なっております。	R6年6月日中想定、10月に夜間想定火災避難訓練を消防署の協力を得て実施している。地震想定や地域住民の参加は見送られている。災害備蓄品を確保し、自然災害発生時における業務継続計画(BCP)を策定している。	自然災害発生時における業務継続計画(BCP)に則った訓練(研修)実施に期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員は言葉使いに気を付けております。	管理者は、利用者の尊厳を守る接遇の重要性を鑑み、ミーティング時等に言葉の使い方に注意を払うよう伝えている。気になった場合はその都度、指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話の中で聞き取りを行なっております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人に合った過ごし方が出来る様に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の整容やお気に入りの服を把握して着て頂いております。		

グループホームほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好み、嫌いな物を把握しています。調理、配膳、片付け等のお手伝いも出来る方にはお願いしています。	法人の栄養バランスや季節感ある献立で3食手作りで提供している。法人から行事の際に、寿司の折り詰めやフルーツ、オードブル等が届いている。誕生日は1番食べたい物のリクエストに応えている。利用者の状態を見極め、食事開始時間をずらすなど配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量を記録し、意識的に水分が摂れるように支援をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科とも連携しそれぞれの方に必要な口腔ケアを実践しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要に応じ声掛け、トイレ誘導をしております。	声かけや誘導が必要な利用者へは時間を見計らったり、様子を察するなどしてトイレでの排泄を支援している。1名はベッド上で支援し、自立している利用者もいる。衛生用品の使用についても適宜、アセスメントしている。現在、全利用者がスムーズな排便状況にある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師とも相談し、対応、取り組みをしております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴拒否もありますが、週2回のペースでそれぞれ入浴して頂いております。	利用者1人週2回の入浴で、希望にそって時間の変更等を行っている。ボディータオルが苦手な方は柔らかい布タオルを使用している。好みの湯加減への対応や浴槽へ湯を出し続けて気持ち良く入浴できるようにしている。声かけからの入浴一連の支援は同じ職員が対応し、会話が弾んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの方に合った就寝時間を考え就寝して頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ全員が理解し、いつでも確認出来る書類も用意しております。飲み忘れ、誤薬に注意しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの方に合わせてお手伝いをして頂いたり、ゲームやぬり絵、散歩、外気浴等、考えて退屈しないように支援しております。		

グループホームほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常で病院への通院以外に外出する機会はさほど有りませんが、ご家族の協力も頂きながら外出する事もあります。	天候の良い時期は周辺の散歩や前庭にある東屋で外気浴を行っている。ドライブ外出では、直売所でリンゴを購入したり、栗山公園での花見や紅葉見学に出かけている。家族と外出する利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は、ほぼご家族が行っておりますが、ご本人から頼まれて欲しい物を買に行く事はあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人から申し出があれば、いつでも電話を掛ける事が出来ます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝清掃をして清潔を保ち、季節毎に室内の装飾を変えて季節感を出しております。	全体的に清潔感のある明るい造りで、ダイニングコーナーの他に、リビングには4つソファを設置し利用者の居場所を確保している。鉢花や花をデザインした美しい作品や写真、パズルや削り絵、プロ野球チームのタオルを額縁に入れ飾っている。居室への動線も直線で分かりやすい。空気清浄機やエアコン、換気で空調を管理し、トイレや浴室も暖かくヒートショック対策を講じている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの方が自由に好きな場所で過ごされております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご本人、ご家族と相談して居心地の良い居室となる様にしております。	居室入り口に本人の写真を飾り見当識に配慮している。介護用ベッド・マット、クローゼット等の備え付けがあり、馴染みの調度品類、アルバム、観葉植物なども持ち込まれている。本人の好みのテレビやラジオ、DVDの視聴など、自由に過ごせる環境をサポートしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	それぞれの方に合った必要な対応をしております。(手すり、ベッド柵、歩行器、車椅子等)		